

アジアビジネスとグローバル組織・人材戦略の立案

金 美德 経営情報学部 教授、大学院経営情報学研究科 教授

多摩大学教員サイト URL

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/kim-m.html>

キーワード

アジア戦略、インバウンド、グローバル人材・組織

概要

本研究室では、インバウンド(外国人観光客)戦略、グローバル戦略、アジア・新興国ビジネスモデル、グローバル人材の採用・育成・登用、企業組織・文化の変革を研究している。

具体的には、「グローバルビジネス」の視点に注目している。日本企業がローカル(地域性)を活かしながらグローバル(全世界的)に展開するアジアビジネスや、海外のヒト・モノ・カネ・情報を日本に受け入れるインバウンドビジネスの理論的枠組みの確立に臨んでいる。

また、アジア・グローバル人材育成のための教科書制作や教育の実績を積み重ねている。文科省・大学の世界展開力強化事業委員会・キャンパスアジア事業(岡山大・中国吉林大・韓国成均館大が採択された「東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム」)推進メンバーとして、日中韓経済学教科書の制作や日中韓の学生を対象にした集中講義を行った。

日本は、対アジア貿易が総貿易の50%、対ユーラシア貿易は74%にも達し、まさしくアジア・ユーラシアダイナミズムの恩恵を受けている。また、インバウンドビジネスが、2018年3,100万人訪日・5兆円消費から、2020年目標4千万人訪日・8兆円消費、2030年同6千万人訪日・15兆円消費と市場規模が急拡大すると予測されている。インバウンドビジネスは、観光業などサービス分野のみならず、製造業にも大きな影響を与えており、地方創生や日本経済の牽引役としても期待されている。一方、インバウンドビジネスは、光の部分だけでなく、影の部分も露呈しており、インバウンド・トラブルの解決策も急がれている。

産学連携事業では、アジア・ユーラシアダイナミズムや世界潮流を俯瞰して時代を正しく認識し、経営環境を客観的に把握するための政治・経済情報を提供する。また、企業組織・文化の変革、グローバル人材育成(採用・育成・登用)、アジア戦略(ヒト・モノ・カネ・情報の売り込みと取り込み)、インバウンド戦略、アジア・新興国ビジネスモデルなどの観点から、経営課題の解決策をご一緒に考える。さらに、新しいアジアやインバウンドなどをキーワードにした商品・製品開発や新規事業をご提案する。

利用・用途

応用分野

- ①インバウンドに対応するためのマーケティング、商品・製品開発、新規事業、経営戦略、社員研修、企業組織・文化の変革などについて共同調査やご提案をする。
- ②アジア・新興国市場での販路や生産拠点の開拓に向けた情報収集・分析やネットワーク構築のための共同調査やご提案をする。
- ③外国人社員の採用・育成・登用や、日本人社員のアジアビジネスのマインド・センスを養成する研修などグローバル人材育成、人事制度・組織改革のための共同調査やご提案をする。

関連論文・著書

1. 『キャンパス・アジア共通教科書 これからの日中韓経済学』(編著：岡山大/田口雅弘、多摩大/金美德、えにし書房、2018年)
2. 『なぜ韓国企業は世界で勝てるのか—新興国ビジネス最前線—』(PHP 研究所、2012年、韓国語版2012年、電子書籍版2015年)
3. 『日本企業没落の真実—日本再浮上27の核心—』(KADOKAWA、2012年、電子書籍版2014年)
4. 『図解 韓国四大財閥』(KADOKAWA、2012年、台湾語版2013年、電子書籍版2015年)など著書18冊(共著含む)
5. 三井物産向け戦略レポート約100本、論文・論考約100本、講演約100件、メディア出演など。

多摩大学 学長室
206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘 4-1-1
[TEL:042-337-7300](tel:042-337-7300) [FAX:042-337-7103](tel:042-337-7103)
E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp
URL: <http://www.tama.ac.jp/>

